

大阪バトン協会 新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン

本ガイドラインは、公益財団法人日本スポーツ協会、一般社団法人日本バトン協会、大阪府の新型コロナウイルス感染拡大防止の方針を踏まえ、大阪バトン協会としての留意点をまとめたものです。

1. 全般的な事項

- ・感染防止の為に主催者が実施すべき事項、参加者が遵守すべき事項を整理して提示する。
- ・各事項が遵守されているか、会場内を定期的に巡回、確認する。
- ・万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに注意しながら、当日参加者より提出された書面を1ヶ月以上保存する。
- ・終了後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合は、速やかに使用施設及び関係各所へ報告する。

2. 主催者の感染予防対策

- ・基本的に密を避ける為、観覧席の使用制限などの対策を行っている施設であっても、重ねて更衣室以外の全ての扉を開けて密閉空間にならないようにする。
- ・無観客または有観客での開催は状況を鑑み、理事会で検討・決定をする。
- ・無観客開催の場合は招待状に替えて、無観客開催のお知らせを郵送する。
- ・大会等では感染状況を鑑み、密を避ける為に出店、写真撮影ブースの設置についても、理事会で検討・決定をする。
- ・体育館の入館人数は利用施設の上限人数を厳守する。
- ・入館時に、指定のチェックシートの提出、手指の消毒、検温をする。37.5度以上の熱があった場合は入館できない。
- ・厚生労働省のCocoaアプリの全員ダウンロード、大阪コロナ追跡システムQRコードの読み込みを推奨する。
- ・大会での開会式、閉会式は、なるべく簡素化する。
- ・密を避ける為に、表彰式は行わず、後日参加団体に、スコアシート、メダルまたは賞状を発送する場合がある。
- ・演技中を除いて、常にマスクの着用を義務付ける。演技中のマスクの着用は参加者の判断によるものとする。
- ・講習会等では、ソーシャルディスタンスを確保し講習する。
- ・常にソーシャルディスタンスを確保するように注意喚起する。
- ・通路が密にならないように、館内は一方通行又は左側通行とする。
- ・こまめな手洗い、消毒をする為に消毒液は必要と考えられる所全てに設置する。トイレには石鹼液が設置されていることを確認する。
- ・更衣室はなるべく使用しないようにするが、使用する場合は密にならないように注意する。
- ・観覧席を使用する場合は、指定の座席のみ使用可とする。

- ・人と接する実行委員はマスク及びフェイスシールドを着用するなどの配慮をし、基本的に設営、後片付けは役員、実行委員、係員で行う。
- ・役員、実行委員、係員は自己責任において運営に携わることとする。

3. 参加者が遵守すべき事項

- ・感染防止の為に主催者が決めた措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。
- ・以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
 - ①体調が良くない場合
 - ②同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる場合。
 - ③過去5日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
- ・入館の際に指定のチェックシートを提出し、手指の消毒をし、検温を受ける。
- ・館内でのマスク着用。演技中のマスク着用は自由とする。外したマスクの管理は感染防止対策の上、各団体に徹底する。
- ・こまめな手洗い、手指の消毒を行う。
- ・他の参加者、主催者側スタッフとのソーシャルディスタンスを遵守する。
- ・応援は拍手のみとし、大きな声での会話や声援はしない。移動の通路でも気を付ける。
- ・ゴミは各自で持ち帰る。
- ・終了後5日以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者へ直ちに報告すること。